



【自分・友だちの新しい一面を発見する】

新学期が始まり1か月。それぞれ1年生も制服が体になじんできたようですね。南花台中学校の新学期が、ほかの多くの中学校と違うところは「クラス替えがない」ことでしょう。みなさんにとって新学期を迎えることは、学級担任や授業を担当する「先生が変わる」ことが一番の変化なのかもしれません。でも、せっかくの新学期です。心機一転、自分や友達の新しい一面を探してみませんか。

右の図は、対人関係の分析モデルを提唱したアメリカの心理学者ジョセフ・フルフトとハリー・インガムの名前から「ジョハリの窓」と呼ばれるものです。

①開放の窓（自分も他人も知っている）、②盲点の窓（自分は知らないが、他人は知っている）、③秘密の窓（自分は知っているが、他人は知らない）、④未知の窓（自分も他人も知らない）という4つの領域を模式図で表しています。

例えば①は、自分は数学が得意で、友だちもそのことを知っているという状態。②は、気づいていないが、友だちは自分のことを「とても親切な人だ」と思っている状態。③は、自分は歌うことが好きだが、披露したことがなく誰もそのことを知らない状態。こうしたことは、誰にでもあり、コミュニケーションを図ることで、みんなが知ることができます。

しかし、④は誰にも存在する領域ですが、まだ誰もその存在すら知りません。この未知の領域を知るにはどうすればいいのか。それは、新しいことにチャレンジすることです。詳しくは次回お話ししますが、1学期の大きな行事（修学旅行・職場体験・宿泊学習）で何か新しいことにチャレンジしてみてください。きっと「未知の窓」が開きますよ。

校長 神田 慎介

離任式：お世話になった先生方との別れ。応援団が先生方にエールを送りました。とても感動的な場面でした。



入学おめでとう！みんなでピースサイン👌

2年生

1年生

3年生

新学年がスタート！クラス写真

